

街路樹診断

街路樹・道路緑化・自然環境調査



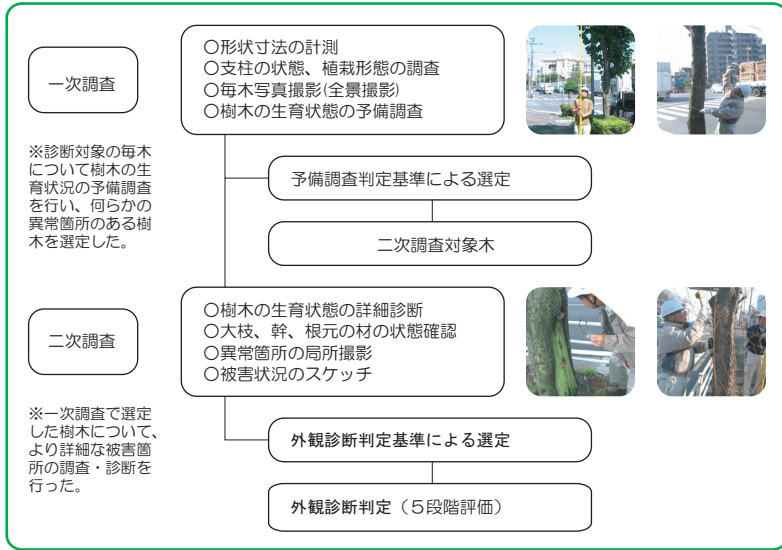
■主旨・内容

本業務は、道路のより安全な通行の確保を図るため、病気や障害を強く受け活力が衰退した街路樹や、材質腐朽菌に侵され著しく材が腐朽した街路樹を調査して樹木の健康状況を明らかにし、将来管理のために街路樹診断カルテを作成するとともに適切な処置を施すための判定や処置計画(案)の作成を行うことを目的としている。

診断は、主に目視による「外観診断」と、樹幹内部の腐朽状態を測定する「精密診断」で構成されている。

外観診断では、大枝・幹・根元の材の状態を鋼棒や木槌等により確認し、更に詳細な診断が必要な樹木を抽出した。精密診断では、極微弱なγ線を使用して樹幹断面を面的に測定する「γ線測定工」(開発：国土技術政策総合研究所)を国道事務所として初めて導入した。近年では、レジストグラフという樹幹内部の腐朽状態を調査する機器を使用し、貫入抵抗測定を行った実績もある。

■街路樹診断のフロー



▼総合判定及び処置計画

樹木番号	種別	樹種	幹径	樹高	幹径測定位置	幹径測定日時	幹径測定者	幹径測定機器	幹径測定結果	幹径測定位置	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果	幹径測定結果
1	街路樹	クサギ	100	15.0	100	2005.08.10	田中	γ線測定器	0.11	100	15.0	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

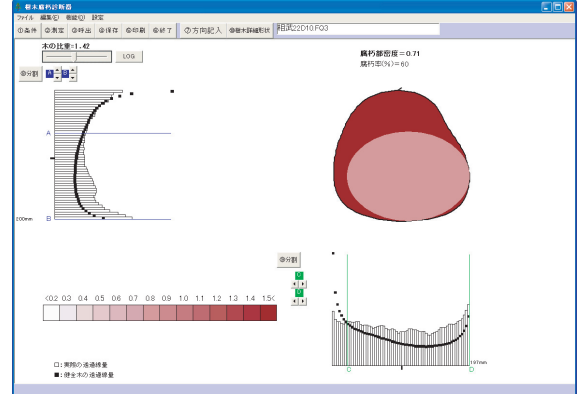
▼被害状況図



精密診断のフロー



▼腐朽断面図



■諸元

- 施設名称：一般国道16号、20号
- 発注機関：国土交通省関東地方整備局 相武国道事務所
- 所在地：国道16号、20号(相武国道事務所管内)
- 診断本数：1,659本(精密診断 147本)
- 業務内容：街路樹診断(外観診断・精密診断)
- 業務期間：2005.08~2010.03